

ALLIED FEATHER & DOWN × TAKT PROJECT

route to root

retracing the story of down.

会場：THE MODULE roppongi 2F #205 [東京都港区六本木7-21-24]

会期：2021.11.5 fri - 11.14 sun 10:00 - 18:00 入場無料



1987年に米国・カリフォルニアで創業した、世界有数のダウン・フェザーのサプライヤーである「ALLIED FEATHER & DOWN〈アライドフェザー&ダウン〉」。世界各国のファッション、アウトドアウェア、寝具ブランドなどに、サステナブルな条件下で製造された軽量で柔らかく嵩高性に優れた極めて上質な羽毛素材を供給しています。

この度ALLIED FEATHER & DOWNは、六本木、国立新美術館のほど近くに新たに誕生した複合施設「THE MODULE roppongi〈ザモジュールロップンギ〉」の2Fスペースを会場に、エキシビション「route to root -retracing the story of down.」を2021年11月5日(金)から11月14日(日)の間、開催する運びとなりました。

本展では、吉泉聡を代表に、国内外のデザイン賞を多数受賞しているデザインスタジオ「TAKT PROJECT〈タクト プロジェクト〉」が、アライドフェザー & ダウン社のフィロソフィーを幻想的な空間で表現します。

古来より人類は、食物とされた鳥の羽毛を、温かく快適な寝具を作るために利用してきました。ALLIED FEATHER & DOWNは、世界最大のダウン・フェザーのサプライヤーとして、自然の恵みからもたらされる素材、そしてそれらを生み出す自然を尊重し、限りある資源を次の世代に残すことを視野に入れた企業活動を自社が構築したサプライチェーンと、環境に配慮した、最先端の加工技術とによって実践しています。

本展を通じ、ALLIED FEATHER & DOWNのダウン・フェザーが、ダウン製品を愛用する方々へ届くまでの物語を紹介します。

About ALLIED FEATHER & DOWN



1987年、アライド社はカリフォルニア州バーノンにある小さな工場からはじまりました。高品質でトレーサビリティのあるダウンのみをアウトドアやファッションブランドへと提供しています。

アライド社は創業当時から信頼のできるダウンの調達経路を模索してきました。現在では、水鳥農家とダイレクトに契約することで安定した品質、価格、トレーサビリティシステムを確立しています。また、羽毛洗浄においても従来の洗浄方法を見直し、改良を重ね、サステナブルな方法で高品質かつ安心なダウンを供給しつづけています。

現在アライド社はアメリカ、中国、ベトナム、ヨーロッパで自社の精製工場と調達部門を確立し、様々なブランドのグローバルな生産ラインに対応しています。

先鋭的ダウンメーカー〈ALLIED FEATHER & DOWN〉の取り組み

いまだに多くのダウンサプライヤーがブローカー経由でのダウン調達や、精製時間を短縮するために高温乾燥や化学薬品などを用いた効率、価格重視のダウン供給を行っているのが実情です。しかし、アライド社は高品質ダウンを供給するために直接的な素材調達、熟練の洗浄、精製方法、革新的な加工技術を追求しつづけています。

さらに経験豊富なR&D チームが生地や製品の構造に合わせた素材の提案など、パートナーブランドと一緒に開発のサポートを行い全面的にバックアップすることがアライド社の強みの1つとなります。

長年にわたりアライド社は、優れたインシュレーションの開発に取り組み、革新的な技術分野をけん引してきました。撥水ダウンにおいては、世界ではじめてフッ化炭素フリーの撥水ダウン〈HyperDRY™〉の開発に成功。加えて、抗菌加工、ダウンと化繊中綿のブレンド、高品質リサイクルダウンなど、様々な革新的な製品を開発しています。

トレーサビリティシステム

アライド社は、信頼性の高いトレーサビリティシステムの世界的なパイオニアです。製品ごとに固有のナンバーを設け、使用されているダウンがどこで育成され、どこから来たのか確認することができるシステム〈trackmydown.com〉を提供しています。



LOFTECH



Exhibition Concept



ダウンジャケットは、自然の恵みで満たされている。

その恵みを纏い、寒さが厳しいフィールドでも美しい自然と繋がってきた人間。

ダウン・フェザーを製造する事は、自然を尊重し、自然と関わり続けるための営みなのだ。

このインスタレーションは、そんなALLIED FEATHER & DOWNの営みを追体験してもらう事を目指した。

ダウンジャケットから遡り、自然の恵みをもたらすグース・ダックまで、その道程におけるストーリーを、ダウンボールで生み出した「ルート」の中に点在させる空間として表現した。

自然素材であるダウンボールで生み出されたその景観は、わずかな風で刻々と変化し続け、ダウンジャケットが向き合う自然の小さなランドスケープの様でもある。

六本木という都心にありながら、ダウンジャケットという身近なプロダクトから自然との繋がりへと思いを繋ぐインスタレーションである。

TAKT PROJECT
2021.10

TAKT PROJECT

吉泉 聡を代表に、2013年設立。東京をベースに活動するデザインスタジオ。既存の枠組みを揺さぶる実験的な自主研究プロジェクトを行い、その成果をミラノデザインウィーク、デザインマイアミ、バリ装飾美術館、香港M+、21_21DESIGN SIGHTなど国内外の美術館やデザイン展覧会で発表・招聘展示。その研究成果を起点に、様々なクライアントとコラボレーション、「別の可能性をつくる」多様なプロジェクトを具現化している。Dezeen Awards 2019 (英) Emerging Designers of the year、DesignMiami/ Swarovski Designers of the Future Award 2017 (瑞)、iF Design Award (独)、Red Dot Design Award (独)、German Design Award (独)、Good Design Award (日) など国内外のデザイン賞を多数受賞。また作品は、香港の美術館M+に永久収蔵されている。

www.taktproject.com



Exhibition Outline

タイトル: ALLIED FEATHER & DOWN × TAKT PROJECT
route to root -retracing the story of down.-

会場: THE MODULE roppongi 2F #205 (東京都港区六本木7-21-24)

会期: 11月5日(金) ~ 11月14日(日) 10:00 ~ 18:00 入場無料

※混雑時及び、感染拡大防止のため行政からの要請等により、入場制限を行う場合があります。
お待ちしておりますことあるかと思いますが、ご理解、ご了承のほどよろしくお願い申し上げます。

インスタレーションデザイン: TAKT PROJECT

テクニカルディレクション: 遠藤豊 (LUFTZUG)

グラフィックデザイン: 林琢真

映像撮影: 井上良

写真・映像撮影: 大木大輔

モデル: 鈴木美奈子、水田祐史

施工: HAKUTEN

企画・PR: 鷹箸廉、濱崎幸友 (noie.cc) / 山本真澄

主催: Double Eye International.co.,Ltd

協力: 株式会社リアルゲイト、HAKUTEN、Cultural Synthesis

会場協力: ザモジュールロップンギ

協力ブランド:

ADAM ET ROPÉ

BEAMS

BEAUTY&YOUTH
UNITED ARROWS

EN ROUTE



JUGEM

MAMMUT

SHIPS

オフィシャルサイト: <https://allied.inc> ※2021年10月30日より公開予定。

Instagram: @alliedfeatheranddownjapan

#routetoroot #allied #alliedfeatheranddown

会場マップ



THE MODULE roppongi 2F #205

東京都港区六本木7-21-24

[アクセス]

東京メトロ日比谷線・都営地下鉄大江戸線「六本木」駅徒歩4分

東京メトロ千代田線「乃木坂」駅徒歩7分

<GENERAL CONTACT>

DOUBLE EYE INTL.CO.,LTD e-mail: contact@dbl-eye.co.jp tel: 03-6804-2877 <https://dbl-eye.co.jp>

<PRESS CONTACT>

PR担当: 山本真澄 e-mail: masumi.y.pr@gmail.com mob: 090-4062-6361